

2023\_1001「雲から姿を現す中秋の名月（動画）」日々の理科 3342号  
お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「中秋」（旧暦8月15日）と「満月」は必ずしも一致しません。むしろ確率的には一致する年のほうが少なく、今年を逃すと数年後になります。この日関東地方は天気があまり良くなく、東京でも曇ってよく見えなかったという報告がたくさん来ていました。

私の天体観望のフィールドの一つに、群馬県の北軽井沢小学校裏のレタス畑の農道があります。360度ほとんど遮るものがなく、月が昇る東の方位も開けているので、今回もここで狙うことにしました。天文シミュレーションソフト「ステラナビゲーター」での事前の計算では、この位置から、この日に満月が昇るのは18:08で、「浅間隠山（あさまかくしやま）」の左（北側）稜線から顔を出すはずでした。

私は月の出予報時刻前に行って待ちましたが、月が出てくる方位は低い層積雲で覆われています。それでもほかの方位は完全に曇っていて、その東側の雲の上だけが晴れていました。すでに月の反映で雲が光っていたので、私はアタリをつけて動画で狙ってみました。すると雲の切れ目からわずかな時間「中秋の名月」が見えました。今回はその動画です。

(2023年9月29日／北軽井沢)

